

進取 自 質 和 生徒 取 律 實 敬 指 究 自 剛 信 標 明 治 健 愛

創立当時から多くの先輩たちの心の拠りどころとなってきた本校の教育理念は、「滝の原精神」という言葉で象徴され、今日まで連綿と語り継がれ、受け継がれてきました。四つの言葉からなる生徒指標は、戦後の昭和20年12月、この理念を継承発展させ、新時代に生きる本校生にふさわしい指針として定められたものです。本校ではこの指標をもとに全人教育をめざしています。

創立144年を 迎えて

明治12年に創立された本校は、同26年、現在の滝の原の地に移転され、さらに戦後の学制改革により、昭和23年に宇都宮中学校から宇都宮高等学校に改称され今日に至っています。創立144年目を迎える歴史と伝統に育まれた県下で最も古い男子のみの高等学校です。この間、毎年数多くの優秀な人材を世に送り出しました。

全国有数の広さを誇る広大な敷地は、周囲を桜、ユリノキ、ポプラ、ヒマラヤスギなどの古木大木に囲まれています。そして、緑濃い杉木立や竹林の中には、赤いレンガで象徴される校舎、報恩館と呼ばれる図書館、歴史の重みを感じさせる講堂や卒業生に白亜館の名で親しまれてきた滝の原会館、平成27年3月に完成した自修館、あるいは、東西二つの体育館などが展開します。本校は、真理を追究する学園にふさわしく、すばらしい学習環境に恵まれています。

さわやかな風の吹き抜ける教室で、校内のあちらこちらの緑陰で、あるいは、広々とした校庭で、明日を夢みる若者たちは、日々、いきいきと学習や部活動に励んでいます。

進学型単位制高校へ

令和4年度から進学型単位制高校となり、初めての新生を迎えました。これまで同様、1、2年生では基礎基本の充実はもとより、2年生からは習熟度授業等を取り入れ学習進度に合わせたクラス編成も取り入れていきます。特に3年生では、主要5教科(国語・地歴・数学・理科・英語)において学校設定科目を設置し、生徒の興味関心やその科目への習熟の度合いに合わせて、自分のとりたい授業を選択し、より深く楽しい学びにつなげるようにしました。もちろんそれは、高い目標に向かって励む本校生にとって難関大学受験をも見据えた戦略的な選択肢ともなっています。7ページには、令和5年度入学生教育課程表を載せました。文類型、理類型の類型によって単位数に差異はありますが、生徒諸君をわくわくさせる授業を準備しています。

全教科主義と 学業プラスワン

宇高生は「全教科主義」と「学業プラスワン」を合い言葉に、学習に、部活動に、学校行事にと青春のエネルギーを完全燃焼させ、充実した高校生活を送っています。

学習では、授業中心主義、授業を第一とし、質・量ともに充実している日々の授業に真剣に取り組んでいます。また、放課後や休日にはほとんどの生徒がスポーツや文化活動などに積極的に取り組んでいます。さらに、生徒会が中心となって企画運営する本校の学校行事には「校内体育大会」や「宇高祭」をはじめ、「校内水泳大会」、17km余を走り抜く「全校マラソン大会」などの多くの学校行事が計画されており、生徒相互の友情や強い精神力を養うとともに、高校生活に潤いをもたらしています。

学業はもちろん、部活動や学校行事に「本気」で取り組む中で、教科書からだけでは学べない体験を通して人格を磨く宇高生の日々は、いつも楽しく光り輝いています。